

寺
ごよみ

四 月

一日 お講・下村
八日 お釈迦さまのお誕生日
一〇日 雪ん子劇団新学期
団員募集中。浦山以外
の方もお気軽にどうぞ

一日 太子会

一六日 お講・栗虫

一七日 十七夜お経会

二二日 チューリップ花飾り

二三日 慶びの春・花の誕生会
親鸞さま、ご先祖、お
じいさん、おばあさん
お父さん、お母さん、
そしてこどもたちの誕
生をよろこぶ法会です。
赤ちゃん、お子さんの
初参式を行います。

初参式の申込み受付中。
受式料は三千円。
二十日まで電話でお申し込
みください。



被災にあった神戸東灘区のお寺

阪神大震災で、友人知人の寺の多くが被災した。消息を知りたくても、電話が通じない。

名簿を見ながら、あちこち連絡してみた。そんな中に住職も坊主も行信教校を卒業している兵庫区のお寺があった。毎年の彼岸会にご法話に行く寺で、あの大火災で丸焼けになった長田区の隣の区である。その寺に偶然のように電話が通じた。

「先生ですか、家族も寺も無事でした。わざわざお見舞い電話有り難うございました」

住職の元気な声が耳に飛びこんできた。そして、彼の寺のすぐ近所のもう一人の知人の寺が全壊全焼したことを教えられた。彼の寺は無事だったが、檀家の人たちが、三十人ほど彼の寺に避難しているということだった。

突然電話の音がいつも明るい、坊主さんに代わった。

「先生、お見舞いの言葉だけではないでしょうね」

ギクツとした。ボランティアの活躍が報道されていたが、私は行っても却って邪魔になるだけだと思ってテレビを見ては、ひたすらお見舞い電話をかけていたのである。何か緊急に必要なものがあるのかと聞くと、水・

ある救援活動

下着・ウエットティッシュ・手袋・靴下・生鮮食料等々が必要だと云う。

品物を揃えて、三日後に自動車の前に「救援物資搬送車」と赤字で書いた紙を張り、彼の寺に行くことにした。

大阪を過ぎると、テレビで報道されていた被災地が生で目に飛び込んで来た。とてもここでは書けないような惨状であった。

車で普通なら三、四十分行ける距離に六時間もかかった。車がギッシリと並んで大渋滞である。しかし、いくら時間が

かかっても、SFのゴジラ映画の中に入ってしまったようで、目を見張るばかりだった。

その時、私の心に沸いてきた気持ちを正直に言葉にすれば、「観光ドライブ」である。

六時間たっぷりライラも退屈もしなかったのである。

目的の寺について、ダンボールの箱やポリバケツを運び下ろしながら、車の前に張っていた「救援物資搬送車」の紙をムシリ取った。

私の車が走ったおかげで、避難所への「おにぎり」を運ぶ車はきつと遅れたことだろう。

利井明弘師

空 華 忌



空華忌講話 (一)

行信教校講師

山本 攝師



まことの信心

「まことの信を定められての
ちには、弥陀のごとくの仏、釈
迦のごとくの仏、さらにみちみ
ちて、釈迦のをしへ、弥陀の本
願はひがことなりと仰せらる
も、一念も疑あるべからず等」

(親鸞聖人ご消息)

今年の空華忌のご法要にあわ
せていただくことができました
ありがとうございます。昨晩か
らつづきまして、ただ今拝読さ
せていただきました親鸞聖人の
お手紙のお言葉をいただきなが
ら、親鸞聖人が、誠の信心とい
うものがどのようなものかとい
うことを非常に具体的に私たち
に示してくださった、そのお言

さまに対しても、あなたと私はもう親子の義を思い切るんだ
ということをお述べになったお
手紙をお書きになっていらつしや
る。そういう風な出来事が起こっ
てまいったわけでございます。
その中で実は親鸞聖人はですね、
誠の信心というものの姿は、例
えどんなことがあってもゆらぐ
ものではないのだ、どんな出来
事に出会ってもその信心という
ものが動揺することはないのだ
よということをお述べになっ
てまいらつしやる。

そこでこのお手紙のことをも
う少し詳しく続けてお話し申し
上げたいと思うのでございます
けれども、みなさんちよつと冷
静にと申しますか、この時の親
鸞聖人のお立場をお考えになっ
ていただきたいんであります。
おそらく何年か前に、関東の教
団に随分と大きな誤解が渦巻い
ておりまして、むしろいろいろ
と仏さまの願ひに背いたこと、
普通世間で許されないような悪
事を働いたりすること、そのこ
との方がむしろ悪人を目当てに
した仏さまの願ひにかなうこと
だという、ちよつと私たちがま
ともに考えましてもおかしいと
いうことが分かりますけれども、
そういう風なところでもない誤解
をなさる方、或いは真宗のお念

仏というのは弥陀一仏をいただ
くことでございますから、その
他の仏さまや他の菩薩さまがた
や他の神々といったものは一切
無視をすべきなんだというよう
な、宗教の問題というのは人の
ことはどうでもいい、どうでも
いいといった言葉がおかしい
ですけれども、あくまで私の問
題として私に問ひかけていくべ
き問題であつたんです。そこを
少し筋をとり違えてしもうてね、
何か弥陀一仏を私たちはいただ
かしていただくのであるから、
その他の宗教、いろんな神々そ
ういうものは一切無視をしてか
まわないんだというような極端
な主張をなさり、又そういう風
な行動をなさる方がどうやらい
らつしやつたようなんでありま
す。これが今私たちがいいます
ところの社会問題と申しますか
ね、大きな社会を動揺させる問
題にまで発展してきたようなん
でございます。そのような混乱
を收拾させるために、親鸞聖人
ご自身何度も何度もお手紙をお
書きになり、そしておそれそ
の問題にからめて事態の收拾を
なさるために、ご長男の慈信房
善鸞というお方を関東の方にお
遣わしになったであらうと思わ
れるんであります。ところがそ
の出来事が実は思いとは裏腹に、

これは私資料がありませんから
正直なところすこしよく分から
ないんでありますけれども、そ
の善鸞さまというお方は別にそ
んなに悪いことをしようとか、
父親を裏切ろうとかそんな思い
を持って行動なさつたものではな
かろうと思ひます。ところが善
鸞さまが向こうに行かれまし
ても、なかなかいろんな各地にい
らつしやる有力なご門弟の方々
や、そついった方々の動揺といつ
たものを押えるほどの、それほ
どの器量と申しますか、力とい
うのは善鸞さまにしてもお持ち
ではなかつたんでありましよう。
で、そんな中であつた自分自
身の言つておることを權威づけ、
自分の主張を、みなに聞いても
らうようにしようといううな、
おそらくあせりのようなものが
あつたのかもしれません。そん
な中で私が密かに父親の親鸞聖
人から法門をさずけられておる
のだ、あなたがたが今まで聞い
ておつた法門はあれは本当の教
えではないんだ、私が密かに聖
人からお聞きしておる法門こそ
が誠の法門なのだというような
ことを、おそらく主張をなさつ
たのではなからうかと、お手紙
から推察されるんであります。

(次号につづく)

お講

お講当番

お講というのは、本来「講ずる」という意味で、仏様のむずかしいお経をわかりやすくお話するということでした。それが、聞く側の集まりまで含めて「お講」というようになったのです。

古くは親鸞聖人の時代からあったようで、その頃から門徒衆が相集い、読経、説教聴聞のあと、そろって「お齋」をいただいたそうです。

善巧寺ではお寺がはじまって以来五百年余、門徒衆の寄合談合の場として、お講がつとめられてまいりました。

このうるわしい風習が、単に形だけの継承ではなく、全門信徒の聴聞の場として繁盛しておりますことは、誠に喜ばしいことです。

「念仏の声を世間に

子や孫に」

どうかこの「お講」を、末代までたやさぬように、親から子へ、お姑さんから若いお嫁さんへとひきつぎながら、皆様の手で、心で、盛りあげて下さいますようお願いいたします。

一月一五日 下村
一六日 栃屋・熊野・大橋・浦山

二月一日 浦山

一六日 下立

三月一日 浦山

一六日 栃沢

四月一日 下村

一六日 栗虫

五月一日 音沢

一六日 音沢

六月一日 東狐・上野

一六日 音沢

七月一日 音沢

一六日 中陣

八月一日 石田・生地・中新

一〇月一日 板屋

一六日 三日市

十一月一日 愛本新

一六日 浦山新

十二月一日 下立愛本

一六日 浦山

おかあさんはお聴聞、
およめさんは台所
よろしく
おねがいたします！



一月一五日
下村お講

品数が多く
色彩が豊か

下村の田芋と

昔から有名

デザート

寒天とりんごが

新しいアイディア

大根と人参の

酢のものには

レーズンを

あしらってみました

一月一六日

栃屋・熊野・大橋・浦山
お講

浦山ごんぼと

昔から言われています

けれど

ごぼうは大きいのを

煮るより

この方が食べやすい

だろうと

さんびらにしてみました

奈良漬の上手な人が

いたりして

お漬物の種類が豊富



二月十六日
下立四区お講
にんじん大根
油揚げなど煮物
やおつゆに使っ
た材料の残りを
活かしておから
の具に ごほう
とねぎはおから
の為にもちより
じゃが芋サラ
ダがお講には珍
しい

二月一日
浦山お講
いつもの通り
のおときですと
おつしやいます
が...
ほど良い味のお
からにはにん
じんごぼうしい
たけ大根ねぎと
具がいっぱい
それぞれご自
慢の漬物をもち
よりました



三月十六日
栃沢お講
春一番の緑
折葉がうれしい
亡き若はん好き
でした
今年は珍らし
いものが
あみ茸あざみ
こごみ菜大根の
酢の物が仲々お
つな味
岩のりの煮物
これ又野趣豊か

三月一日
浦山お講
昔ながらの伝
統をそのまま引
きついでいると
か
大根ごぼう油
揚げにんじんじゃ
が芋の煮物
おつゆは具だ
くさんで大根人
参油揚げの酢の物
リンゴ入りの
白菜等の即席漬

春の総代会

3・19

善巧寺の春の総代会は三月十九日に開かれました。会議に先立って事務局から、前住職は寝たきりではあるが食欲旺盛で会話ははずみ、週に二度のデイサービスを楽しみにしているとの近況が報告されました。

次に新総代三人、浦山六区の二口実さん、同山内健二さん、析沢の開沢利雄さんの紹介がありました。

審議に入って六年度の事業報告ならびに決算報告では、昨年還浄された総代、音沢の佐々木助一さん、入善の板川繁次郎さん、この三月還浄された下立愛本の清水久一さんの葬儀が報告されました。又、嶋田総代から、雪ん子劇団の活躍がめざましい

ようだが劇団の運営費として寺から助成はあるのかと質問がありました。雪ん子劇団は昨秋十五周年を迎えました。月謝はとっていないものの父兄（夢を育てる会）が寺に負担をかけるようにと助成をして下さっています。おかげで会館使用の為に電気、水道、灯油代やコピー使用料にいたるまで劇団独自の採算で賄われています。又、仏教婦人会・白鶴会、夢を語る会、

花の会など各教化団体も各々独立採算で活動していることが報告されました。

補足として、野島総代から、寺の田圃の草刈り、第二期連研のスタート、下三日講の報告がありました。

尚昨年は、講師部屋の白アリの駆除とそれに伴う改築の為、予備費の支出が多くなっています。

今回懸案の議題は、本願寺連如上人五百年法要、善巧寺二十一世隆弘住職七回忌法要、お墓の移転、第二十二世継職であります。

但し、これに関しては、本山には申し訳ないが、まず来年度九月の隆弘住職の七回忌及びお墓継職の件を優先させていく、具体的には専門部会をつくって具体案を出していこうということになりました。

会議終了後、本堂で、善巧寺教化推進団体合同の仏参がありその席で、これまでに辞められた総代十三人へ長年の功労をねぎらって感謝状と記念品の贈呈が行われました。同様に本波ヒサさんと河村としいさんも表彰をうけました。この二人は総代ではありませんが、それに優るとも劣らぬ貢献をしていただいていることから、総代会、寺内合意のもとに、贈らせていただきました。

表彰された方々

川内作一、川内貞義、川内彦一、松平源治、橋爪伊左夫、川口三郎、中山慶太郎、橋本庄吉、上坂好次、開沢信一、開沢泰久、藤沢潔、浦滝友一、本波ヒサ、河村としい（敬称略）

その後会場をかえて新旧総代歓迎会及び教推協懇親会が催されました。感謝状を受けられた中山慶太郎、橋本庄吉、藤沢潔、河村としい（敬称略）の四人が出席され、代表して中山さんが「感謝状をいただくようなことはしていませんのに大変光栄に存じます。十余年前の三法要では総代としての誇りと名譽を身にしみて感じ忘れられぬ思い出です。今後共善巧寺の護持発展を願ひいたします」と謝意を述べました。

夢を語る会の若手の参加もあって宴はこのほか盛り上り、二時間があつという間に過ぎていきました。



新総代二口実、山内健二氏も交えての総代会



表彰された方々
中山慶太郎氏
橋本庄吉氏
藤沢 潔氏
本波ヒサさん
河村としいさん



謝意を述べる中山氏

白鶴会総会

3・10

善巧寺仏教婦人会白鶴会の平成六年度総会は三月十日十時から開かれました。事業報告、決算報告、事業計画案を承認。幹部役員は昨年度に引きつづき会長に菊地れい、書記大藪富美子、会計本波ときゑの三人に、今年度から副会長をおくことになり、田中まつゑさんが就任しました。

雪ん子劇団滋賀公演



行信教校での二度目の卒業式がやって来た。とは言っても、昨年行信仏教学院を卒業して、今年、教校部一年の私にとって、今回は卒業生を送る式だ。行信教校は毎年入学した者の $\frac{1}{2}$ は途中でやめていき、のこりの $\frac{1}{2}$ ぐらいが卒業してゆく。「入口は広いが出口はせまい学校」私も入学する前は毎回もこれを聞かされて、どんな学校なのかとドキドキしながら入学した日を思い出す。そして、今年で二年目を終えてあと二年もすれば教校部も卒業となる。まあ、よっぽどことがないかぎり私も卒業するであろう。「入口は広いが出口は狭い学校」こう言うつ、

この学校に卒業という、かたち、はあるが、本当の卒業はない。要は、行信教校という海の中にどれだけ浸っていきけるか、これが問題だろう。

話は変わるが、卒業式で校長



若院雑感

先生が「救援という名の観光」という話をしてくださり、(寺報一面の記事)これを聞いて、私はドキッとした。今回の阪神大震災で、私も義援金をおくるといふ一番簡単な方法で協力した。義援金というのは、人目を気にするよう思ってお金を送っている人はいるか?そんな風に思いたった。これは誰にも言わず誰にも知られずするのがベストだと勝手に思っている。私はそのようにした。(もっとも、今ここで書いてしまったのでそれも何の意

平成6年善巧寺一般会計決算報告

(収 入)	(予 算)	(決 算)
1. 繰越金	297,155	297,155
2. 布施取入	9,730,000	9,859,624
門徒法行	8,070,000	8,135,600
年中行事	1,130,000	1,235,100
賽銭	400,000	408,924
雑収	130,000	80,000
3. 会費	4,700,000	4,745,000
4. 特別懇志	200,000	0
5. 雑収	72,845	60,000
合 計	15,000,000	14,961,779
(支 出)	(予 算)	(決 算)
1. 人件費	7,440,000	7,220,000
2. 運営費	4,600,000	4,263,480
法要費	1,250,000	1,245,900
法教寺車会接雑	900,000	857,419
維持費	950,000	956,457
宗営保	1,000,000	873,447
費	200,000	115,617
費	200,000	214,640
費	100,000	0
3. 雑持費	2,100,000	2,006,152
宗営保	950,000	955,469
費	900,000	814,035
費	250,000	236,648
4. 予備費	860,000	1,102,771
合 計	15,000,000	14,592,403
	*差 引	+ 369,376

平成7年善巧寺一般会計予算

(収 入)	(予 算)
1. 繰越金	369,376
2. 布施取入	9,750,000
門徒法行	8,100,000
年中行事	1,150,000
賽銭	400,000
雑収	100,000
3. 会費	4,700,000
4. 雑収	180,624
合 計	15,000,000
(支 出)	(予 算)
1. 人件費	7,220,000
2. 運営費	4,600,000
法要費	1,250,000
法教寺車会接雑	900,000
維持費	950,000
宗営保	1,000,000
費	200,000
費	200,000
費	100,000
3. 雑持費	2,100,000
宗営保	950,000
費	900,000
費	250,000
4. 予備費	1,080,000
合 計	15,000,000



成人おめでとう

落のとう みそ和えにして
食しけり 俊之
車椅子 押しつつ春の
庭めぐる 喜子

教隆 本山で成人式
一月八日、第四三回「本山成人式」が行われ、全国各地から新成人二百六十一人が参加。教隆も学友達と参列してご門主様からお祝いのお言葉をうけました。

寺 五月

寺 六月

一日 お講・音沢1
一六日 お講・音沢2
一七日 一七夜お経会
二二日 利井常見寺、行信教校
二六日 専精舎百周年
一日 お講・東狐、上野
一三日 第十八回野休み落語会
出演 永六輔 入船亭扇橋
柳家小三治
内海好江 柳家小多け
会費 二千元
一六日 お講・音沢3
一七日 一七夜お経会

第100回 専精舎 夏安居 記念大会

日時：平成 7 年 5 月 22 日(月)より 26 日(金)まで

会場：行信教校（高槻市東五百住町 3-4-17）

午前の部〔8 時 30 分～12 時〕

- 本講 「一念多念文意」司教 梯實圓和上
- 副講 「観無量寿経」輔教 天岸浄圓先生
- 会談 「三往生義」「悪人正機」

午後の部〔13 時～16 時〕

- 科外講演＝利井明弘/梯實圓/騰瑞夢/天岸浄圓他

【26 日】

14 時より御門主記念講演 4 時より記念祝賀会

聴講無料 お問い合わせは 行信教校・一味出版部へ

明教院の流れをくむ
行信教校の、年に一度
の専精舎へ、明教院の
里からは是非お参りさせ
ていただきますよう。
日程、費用などはご
相談の上
とにかくお参りした
い、聞きたいという方
お知らせ下さい。
俊隆が行信教校にい
る間に是非。

隆弘の里 常見寺へ

太子会 今年是新潟のお寺へ
四月十一日
国府別院、瑞泉寺参拝

親鸞聖人、恵信尼さまのご旧
跡におまいりする予定
会費は日帰りで一万円ほど
お早目にお申込み下さい

申込みは二十日まで
ご近所の赤ちゃんもおさそい下さい
Tel 六五〇〇五五

初参式 十時
縁 日 十一時
受式料 三千円
お申込み受付中



お宮参りはしたけれど
仏さまへのごあいさつはまだ？
それは大変、さあさつそく申し込みましょう
赤ちゃんが生まれたら必ずお寺の初参式へ
花の中の初まいり
四月二十三日 午前十時

第十八回 野休み落語会

六月十三日 PM 七時半



ご存じ「六輔七転八
倒野休み落語会」、今
年は六月十三日午後七
時半善巧寺お寺座で開
催。
おさそい合わせぜひど
うぞ
出演は
永六輔、入船亭扇橋
柳家小三治、内海好
江、柳家小多治
お代は二千円

おとりこし門徒報恩講
今年もおかげさまで

本願寺富山別院は、明治十七
年第三十一世明如上人の時、集
会所より別院に昇格し、以来、
越中門信徒の開法を中心道場と
して一世紀あまりにわたって敬
まれ護られて来ました。

平成八年再建三十周年を機縁
として、連如上人五百回遠忌法
要、顕如宗主四百回忌法要、並
びに別院再建三十周年法要の三
大法要を平成八年に厳修するこ
とになりました。極めて厳しい
時節がらであります、ここに
格別のご支援とご協力を賜りま
すよう謹んでお願い申し上げます。

本願寺富山別院輪番藤田湛悠
☆一口五千円以上、どうか祠堂
会ごろまでお願い致します。

あしかけ半年にわたって行わ
れる門徒ほんこさんまわり。少々
風邪ひきの時もありましたが、
三十年近いキャリアの法輪寺住
職にひっぱってもらって、一日
も休まず回ることができました。
本当に大切な年に一度のお出会
いに、あえてよかったとその度
に思います。

お昼当番さんごちそうさまで
した。来年のお当番さんよろし
くおねがいたします。

また、今年はご縁がなかった
方、是非来年はおつとめいたし
ましょう。せめて年に一度のご
縁です。今年の寺費は九千円で
すので夏までにお納め下さい。
よろしくお願い致します。

合 掌

春です。雪ん子劇団十五周年
公演を最後に十一名の卒業生が
はばたきました。

「公演へ行った先で、ありが
とうよかったよーまたきてねー
と言葉をかけてもらって心があ
たたまる感じがした。」「多くの
人達の前の演技は緊張と喜び
と勇気を与えてくれた。」「うぬ
ほれかもしれないけど私達はみ
んな一年生の時に比べると明る
くはきはきしてきたように感じ
る。」

そしてお母さん達は、
「ドキドキしたり感激したり
泣いたり笑ったり子供以上にお
母さんが楽しかった六年間だっ
た。」「いただいたお菓子を一つ
は自分に一つは家族にとお経の
ように唱え一個の饅頭を分けて
くれその日の出来事を話してく
れた。」「一番うれしいことは今
まで人に何かをしてもらうこと
だけを幸せと甘んじていた子が
演劇を通して人に喜んでもらえ
たことを幸せと感じとることが
できたことです。」

どの子もみんな輝いています。

